

卒業必修		保育士必修		幼稚園教諭必修		選択	
授業科目名：		保育士資格取得のための		単位数：2単位		担当教員名：久米隼	
ボランティア概論		選択科目		(半期) 講義		担当形態：単独	
ナンバリング：1006							
系 列		教養科目					
教科目		外国語、体育以外の科目					
授業の到達目標及びテーマ							
1. 自らの考えで様々な問題に取り組むことがボランティア活動であることを知る。							
2. 自身の興味や関心で、自分の時間や環境の範囲でできる活動であることが理解できる。							
3. 社会で起きている問題に関心を持ち、考え、行動することができる。							
授業の概要							
ボランティアの意義や歴史、種類（領域）、課題等の基本的な事柄を学び、自ら課題を見つけ、調べ、まとめ、発表する活動を行い、ボランティア活動を理解する。							
授業計画				授業時間外の学習			
第1回：オリエンテーション（なぜボランティアを学び、取り組むのか）				・毎回の講義について復習し、学			
第2回：ボランティアの定義・動機				びや気づきの整理、課題などに取			
第3回：ボランティアの理念・思想				り組む（授業ごとに1時間程度）			
第4回：ボランティアの活動・意義							
第5回：社会問題のとらえ方①（社会問題とはなにか）				・中間レポート（書評）および最			
第6回：ボランティア事例検討：児童虐待防止の市民活動				終レポート（振り返り）の執筆を			
第7回：ボランティア事例検討：遊び場づくりの市民活動				行うにあたり、文献調査や調べ学			
第8回：社会問題のとらえ方②（ビブリオバトル）				習等を行う（レポートごとに3時			
第9回：ボランティアと関係機関				間程度）			
第10回：ボランティアとNPO				※その他、それぞれの居住してい			
第11回：地域社会におけるボランティアの実践を知る（羽生市）				る市町村にあるボランティアセ			
第12回：ボランティアをPDCAサイクルで考える				ンターなどに訪ねるなど、実際に			
第13回：活動時の注意事項（ルールやマナー、ボランティア保険）				現場へ行くことも推奨する。			
第14回：まとめ							
第15回：振り返り							
定期試験：筆記							
※学生の関心にあわせて、授業期間中にゲスト講師を招聘することも想定している。							
授業の方法							
基礎的な項目は講義を行い、その後、調べ学習・討議・発表形式で進める。基本的に毎回の講義ごとにリアクションペーパーや課題レポートでフィードバックを行う。授業のまとめ感想をグループワーク資料として使用する。							
テキスト 「これだけは理解しておきたいボランティアの基礎」 日本橋出版							
参考書・参考資料等 「モヤモヤのボランティア学」 昭和堂 他 適宜紹介							
学生に対する評価							
定期試験（20％）・提出物（40％）・授業参画度等（20％）・活動報告（20％）を総合的に評価。							
※教員と学生間の成績評価に関する認識を統一するためにルーブリックを活用する。							
履修上の注意							
・ボランティアの意味から、自ら積極的に学習し、ボランティア活動に取り組むこと。							
・学びを実践につなげるため実際にボランティアとして最低でも1回以上、活動に参加するように努めること。							
・授業は学生主体で自分自身の考えや意見を述べるためにも、事前・事後学習が重要である。							
実務経験の有無		有		実務経験		現場実践や中間支援組織でボランティア支援・推進 等	
実務経験を活かした教育内容							
非営利組織（NPO）等の運営や活動に携わった実践経験をいかし、具体的事例をもとに授業をする。							